

Rotary International District2780

# GOVERNOR'S

## Monthly Letter

奉仕しよう  
みんなの人生を  
豊かにするために



SERVE TO CHANGE LIVES

2022  
5月号  
Vol.11

2021-2022  
ガバナー月信



MEMBERSHIP!!

GROW MORE

Rotary



国際ロータリー 第2780地区 2021-2022年度ガバナー 田島 透  
Rotary International District2780 2021-2022 Governor Toru Tajima

## ガバナーメッセージ

## クラブ会長・幹事の皆様、 そしてクラブ会員の皆様へ

国際ロータリー第2780地区  
2021~22年度ガバナー

田島 透



### 「今年度はあと二か月…今、私たちにできること」

新緑が美しい季節となりました。皆様には、  
益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。  
今年度も2か月となりました。この2か月がと  
ても大切な時期です。

#### 「会員増強と会員維持」

緊急事態宣言は3月21日で終了されました。  
感染者数はまだ多いながらも減少傾向になっ  
てきました。私たちのロータリー活動でもウズ  
コロナが浸透し、例会も休会せずにハイブリッ  
ドなどで開催されるようになってきています。  
予定していたロータリー奉仕デーイベントもす  
べてのグループで実施されつつあります。しか  
し2年間にわたるコロナ禍は会員数を大きく減  
少させました。

今年度の会員数は3月末で入会者数105名、  
退会者数94名で純増11名となっています。大  
変厳しい状態です。6月には例年数十名の退会  
者があります。6月30日まで新会員の入会を行  
ってください、そして同時に6月の退会防止を

お願いします。

地区では、入会された新会員にグループごと  
にロータリーの魅力や醍醐味を体感してもら  
えるよう新会員の集いを実施しています。今年は  
新会員相互がコミュニケーションを取り情報交  
換をすることで退会防止につながっていると感  
じています。

しかし、最近は在籍期間の長い会員の退会  
が目立ちます。

長い時間をかけてようやく新会員の入会にこ  
ぎつけたのも束の間、親しかった仲間の退会と  
いう残念な情報が入ってきます。「EACH ONE  
BRING ONEの達成感を打ち碎かれそうにな  
る」と話す方もいました。

ロータリアンとしては、対面での「親睦と奉  
仕」の実践が会員維持にアクティブなパワーと  
なっています。しかし高い年会費を払って例会  
が休会され奉仕の活動が行われないというコ  
ロナ禍の活動状況が退会理由となっていると  
も聞いています。

#### CONTENTS

ガバナーメッセージ	2
月間テーマについて	4
地区研修委員会より	5
地区大会開催報告	6
ROTEX総会報告	8

姉妹地区委員会より	9
相模原ニューシティRC戦略計画について	10
ロータリー奉仕デー	12
コーディネーターニュース	13
ロータリーの創生	14
GROW MORE MEMBERSHIP、新会員紹介	15

## ガバナーメッセージ

ロータリークラブへの帰属意識、モチベーションや高い目的意識を保ち続けていくには、対面での例会の実施、研修、親睦や奉仕活動が必要だと思います。6月に向けてウィズコロナで、できることからロータリー活動を行うよう検討してください。そして全力で6月の退会を防止しましょう。

**「ウクライナ支援」**

ロシアがウクライナに軍事侵攻して1カ月半。



ウクライナでは耳を塞ぎたくなるような残虐な行為が行われています。ニュースの中の出来事は実際に起こっていて、子どもから大人まで非常に苦しい環境に置かれています。破壊された街や犠牲となつた人々の映像に触れる度、心が痛みます。

ウクライナ(RID2232)や周辺の国々のロータリアンはウクライナ難民に迅速な人道支援をしています。

ウクライナには62のロータリークラブと6の衛星クラブがあり、その会員数は約1,100人です。また24のロータークトクラブがあり、その会員数は300人以上です。

避難民に食糧、水、医療、シェルターを提供するため、欧州や世界各地のロータリークラブとロータークトクラブが、周辺地域の会員とともに迅速に支援活動に乗り出しています。

財団管理委員三木明氏(地区大会でのR I 会長代理)よりポーランドのピオトルさんから悲痛なメッセージが届いています。現地の大変さがよくわかります。

『21世紀にもなって、一国が自分の国の領土を侵略しているなんて、信じられないことです。ウクライナからの難民の数は増え続けています。私たちは国境で難民を迎え入れ、彼らのためにアパートやホテルの部屋を探そうと努力し

ています。様々な物資の需要も高まっています。資材の種類は時々刻々と変化しています。例えば、当初は衛生用品や医薬品が多く必要とされていましたが、現在は食料が多く必要とされています。私たちの予算は十分ではないので、他の国から資金を調達しています。

ロータリアンとロータークターが寛大さを示し、さらに多くのお金を集めてくださることを願っています』と嘆願されています。

第2231地区(ポーランド)のシュチェチン・ロータリークラブは、災害救援補助金を活用して、ウクライナから逃れてきた避難民に移動手段、宿泊場所、食料、医療援助を提供しています。

当地区ではこのシュチェチン・ロータリークラブを支援するために会員の皆さんに募金をお願いしましたところ55クラブから募金がございました。そして「地区大会でのウクライナ募金」、コンサート「北欧フィンランドの調べvol.3 でのウクライナ募金」を合計して3,821,389円(4月20日現在)となっています。できるだけ早くこの緊急支援金を届けたいと思っています。4月25日に振り込み予定です。皆様のご寄付に心から感謝いたします。またロータリー財団へはDDFから25,000ドルを「ロータリー災害救援基金」へ送ることにしました。





## 青少年奉仕月間



2021～22年度  
地区青少年奉仕委員会

委員長 岡田 英城  
(横須賀RC)

5月は国際ロータリー奉仕の第5部門「青少年奉仕」月間です。

地区「青少年奉仕」としては、インターラクト・ローターアクト・青少年交換・RYLAの各プログラムを実施しています。12歳からの若人を対象に年齢別・プログラム別にテーマを設ける事で青少年の健全育成を図り、国際社会・地域社会に平和でより良い幸福な未来を築く礎となることを支援するロータリーの重要な奉仕の一つの部門としてとらえております。

### 1. インターラクト(Interact)クラブプログラム

インターラクトはインターナショナル アクション(International Action)の造語です。1962年RI理事会はインターラクトクラブプログラムを採択しました。日本では1963年宮城県仙台市仙台育英高校インターラクトクラブが創立されました。インターラクターはプログラムを通じて楽しく意義ある奉仕活動を実施しながらリーダーとしての力を身につけ、友人を増やし、未来に向けて成長しています。

国・地域: 145国 クラブ数: 14,911クラブ 会員数: 342,943人 2780地区クラブ数: 12の会員が活躍しています。

### 2. ローターアクト(Rotaract)クラブプログラム

ローターアクトはロータリー アクション(Rotary Action)の造語です。1968年RI理事会はローターアクトプログラムを採択され、同年日本でも、国際商科大学ローターアクトクラブが創立されました。18歳から若人(2019年年齢制限撤廃(30歳まで))までの青年男女を対象に「地域社会を基盤とするクラブ」と「大学を基盤とするクラブ」があります。目的は青年男女が個々の能力の開発に当たつて役立つ知識や技術を高め、それぞれの地域社会における物質的、あるいは社会的なニーズを取り組み、親睦と奉仕活動を通じて全世界の人々の間により良い信頼関係を推進する機会を提供する事にあります。更に2019年RI規定審議会では、国際ロータリーの加盟クラブとして2022年よりローターアクトクラブを含めるよう採択されたことにより、ローターアクターの活動範囲が広がり、ロータリアンと共に奉仕活動の機会が増えたことは、ロータリーの未

来の希望が拡大されると思います。

国・地域: 180 クラブ数: 10,698 会員数: 203,298人  
2780地区クラブ数: 5の会員が活躍しています。

### 3. 青少年交換プログラム

青少年交換プログラムは、海外の人々と交流し異文化を体験することによって生涯にわたる国際理解の種を播く機会を、多く青少年に提供しています。学生は他国での生活のあらゆる面を直に学びます。他国の教育制度を体験することによって、学業面でも人間的にも成長を遂げます。さらに異文化出身の学生との親密な交流を通して、受入クラブ・ホストファミリーそして地域社会全体も豊かになります。「青少年交換プログラム」は1927年デンマーク・コペンハーゲンとフランス・ニースでの間で始まり、1972年RI理事会は正式プログラムとして推奨しました。2780地区はインバンド9名アウトバンド9名が共に親元を離れ、慣れない海外生活では多くの乗り越えなければならない試練を経験します。ロータリアンの皆様の友愛の心が最も重要で、子供達の成長を楽しみ、プログラムを推進していただけます様お願いいたします。2022-23は派遣学生募集を再開する予定です。

### 4. RYLAプログラム

(Rotary Youth Leadership Awards「ロータリー青少年指導者養成プログラム」)RYLAは、14～30歳の若い世代を対象とした短期集中型のリーダーシップ育成プログラムです。クラブ、地区で運営され、参加者が新しいスキルを学びながら、地域社会と関わり、個人的・職業的に成長できる機会となります。クラブと地区にとっても、RYLA参加者の持つ新鮮な視点や考え方方が得られるというメリットがあります。2022-23では開催する予定です。

結びに「青少年奉仕」部門はロータリーのみならず、地域社会・世界社会に未来のリーダーを育成するプログラムであり、世界のすべての人々が「幸福な営み」を手に入れるための支援は、私たちロータリアンの重要なミッションです。一人一人のロータリアンが、クラブ単位で、地区単位で、グローバルで活躍されることをお願い致します。

## 地区研修委員会より

# 2021-22年度 会長エレクトセミナー(PETS)報告

2021～22年度  
地区研修委員会

PETS担当 保田 嘉雄  
(大和田園RC)

2022年3月12日(土)藤沢ミナパークにおいてPETSが開催されました。過去2年リモートによる研修会でしたが3年ぶりとなる「対面」での研修を行いました。

次年度佐藤ガバナーエレクトによる次年度R I テーマ・地区方針等の報告に続き、当地区PG小沢一彦氏と「第2840地区」PG田中久夫氏(高崎RC)より講演をいただきました。お二方とも「クラブを大切に」「会員増強」を強調され大いに参考になる講演でした。昼食後8班に分かれ「クラブ会長の役割と責務について」「未来へつなぐために次年度何を目指すか」のテーマで研修委員会メンバーのリードで活発なディスカッションが行われ、どのグループも時間が足りないほどでした。再度全体会として「6委員会委員長」による次年度方針、目標の発表があり、研修日程を無事終了しました。



その後に予定していました「懇親会」は「安全のため」中止となり参加の皆さんには心残りであったと思いますが、一方で充実した1日となり今後のクラブ運営に生かされる事でしょう。



## 地区大会開催報告

## ロータリーの未来へ加速していこう

2021～22年度  
地区大会実行委員会  
委員長 市川 洋  
(ふじさわ湘南RC)



この度のRI第2780地区2021-22年度地区大会開催に際し、ご多忙の中にも関わらずご出席いただき心より御礼申し上げます。

コロナ禍の中での開催ではありましたが、お陰様で多数の会員の方々及び、ご家族の皆様に参加頂き、無事終了することができました。これもひとえに会員皆様の温かいご支援の賜物と、実行委員会一同、心より感謝いたしております。

本年度の地区大会は「SHIFT UP ROTARY」のスローガンの下でプログラムを企画。RI会長代理には、元RI理事でロータリー財団2021-25年度管理委員・三木明氏をお迎えし、「クラブリーダーセミナー」を開催。本会議では、かながわ信用金庫理事長・平松廣司氏をお招きし、日本の未来を変えた「渋沢栄一」についてご講演いただきました。また新世代交流会の中止により、急遽設営いたしました「END POLIO NOW in 2780」も盛況に開催。コロナ対策としての試みでありました、オープンエアでの懇親会まで多くの会員にお残り頂き、成功裡のうちに大会を終えることができました。ここに改めて会員の皆様に對し、衷心より感謝と御礼を申し上げます。



## 地区大会開催報告

# 「地区大会」 END POLIO NOW in 2780 を振返って

2021~22年度  
ポリオプラス委員会  
委員長 神谷 一博  
(湯河原RC)



田島透ガバナー年度(2021~22年)からポリオ(急性灰白髄炎)の啓蒙活動を積極的にやるのでポリオプラス委員会を創設したとの事を伺っておりました。その委員長を仰せつかったときは戸惑いを感じ、私にできるか非常に不安でした。しかし、ポリオと言うウイルスは非常に感染性の高い病気であり、特に感染しやすいのは5歳未満の子ども達です。感染し麻痺が発症いたしますと現代の医療では治すことができません。2780地区でのポリオ根絶の啓蒙活動をやらせて頂ける事は光栄であります、田島ガバナーの指導の下、何とか形にしようとの思いが強かったです。

「地区大会」3月21日午前中の「END POLIO NOW in 2780」ポリオ根絶を目指して・記録発表会は、今年度10月24日「世界ポリオデー」に向けて「各種ポリオ根絶キャンペーン」、「バスジャックプロジェクト」、「ポリオ根絶・コロナ鎮静化祈願祭」等、また10月24日、当日行われました「ポリオ根絶サミットin2780インド、デリー南西ロータリークラブとのLIVEサミット」の記録をダイジェスト版にて発表させてもらいました。改めまして田島ガバナーのポリオにかける情熱と行動力、ガバナー補佐の皆様方のたぐい稀なるリーダーシップ、そして関係各位の方々の企画・準備、2780地区の力強さを改めまして実感いたしました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

エクス  
カーション



END  
POLIO  
NOW  
in 2780



本会議





## ROTEX総会を終えて



2021～22年度  
青少年交換委員会

副委員長 新井 智代  
(藤沢南RC)

日頃より青少年交換プログラムにご理解をいただきありがとうございます。

「ROTEX」とは青少年交換プログラムにおいて海外へ派遣された学生の帰国後の総称ですが、彼らは「青少年交換プログラム」を存続するために必要不可欠な存在です。特に英語のみならず、派遣国の言語に精通したROTEXは来日学生を支える大きな力です。

通常であれば、派遣候補生の研修オリエンテーション、また来日学生の空港へのお迎えから日本滞在中の交流イベントの企画と運営、京都への研修旅行の引率など多岐に渡った活躍をしてくれております。青少年交換プログラムの要と言っても過言ではありません。

ところが、新型コロナウイルスの影響で2019年に派遣された学生が途中帰国を余儀なくされて以来、ROTEXも新規メンバーは途絶えてしまいました。プログラムの完全な中止が2年間続き、活動のモチベーションをどこへ見出していくかが悩みの種となりました。



もうROTEXは集まらなくなるのではないだろうか…と一時期は青少年交換委員会でも危惧をいたしましたが、学生達の静かな情熱は絶えることはありませんでした。留学生のサポートはできなくても自分たち自身が成長するために、2か月に1度の勉強会を

続けて行くことがまず決まりました。勉強会は全てZoom開催となりましたが、多くのメンバーが興味を持つように…とSDGsを題材に講師をお招きして本格的なディスカッションを重ねて参りました。その結果3月6日(日)にZoom開催されましたROTEX総会では22名が集結し、1年間の努力の集大成として若い笑顔が溢れ団結力がさらに確認できるひとときとなりました。

4月からの新年度役員は会長:藤原あゆ(18-19カナダ派遣生) 副会長:高橋実来(17-18メキシコ派遣) 小宮加子(18-19カナダ派遣) 会計:市川智尋(19-20ドイツ派遣) 総務:石川星舞(19-20フランス派遣) 金子美優(19-20台湾派遣)です。

残念ながら地区大会での新世代交流会は開催されませんでしたが、4月2日には第2グループの「ロータリーファミリーデー」へお招きいただきROTEXの想いを紹介する機会をいただきました。ありがとうございました。

6月にはROTEXメンバーが出演するチャリティーコンサート「Hopeful Harmony」の運営も担当いたします。ぜひ、今後ともROTEXの活動への応援をいただきたくお願い申し上げます。



## 姉妹地区委員会より



国際ロータリー3662地区・第2780地区

## Zoom女性交流会

2021～22年度 姉妹地区委員会

委員長 佐野 英之  
(秦野RC)

2022年3月3日、RI2780地区ガバナー事務所(会議室)において、姉妹地区のRI3662地区(韓国済州)と昨年7月に行われた国際交流Zoom会議に続き「Zoom女性交流会」を開催しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、相互訪問はできないため情報交換や親睦を図る目的で行っているZoom交流を、今回は女性会員比率が高く、ガバナーエレクトも女性である3662地区の女性会員と、当地区の女性会員とで交流会を行いました。



金河錫ガバナー



金慶蘭エレクト



田島ガバナー



佐野委員長

3662地区からは金河錫ガバナー、金慶蘭ガバナーエレクト他多数が参加され、当地区からは田島ガバナー、佐野姉妹地区委員長、女性会員として北村ガバナー補佐、三澤ガバナー補佐、取住ガバナー補佐、鳥山ガバナー補佐他、合計12名が参加して、両地区からの質問形式で様々な意見交換を行いました。



北村ガバナー補佐



三澤ガバナー補佐



取住ガバナー補佐



鳥山ガバナー補佐

## 《質問～回答内容(一部抜粋)》

- ・3662地区は何故女性クラブと男性クラブが分かれている、男女混合のクラブが少ないのか?
- ・女性クラブとして、混合クラブや男性クラブとの交流はあるのか?また、どんな交流をしているのか?
- ・女性会員だからこそ出来た事業があるか?また企画はあるか。
- ・女性クラブならではの特色や利点はあるか?(例会、親睦会、奉仕プロジェクトなど)



佐藤エレクト

## 《意見交換》

金慶蘭ガバナーエレクト(3662地区)から佐藤ガバナーエレクトに次年度の地区方針へのお訊ねがあるなど、ディスカッションを行った。また、過去の相互訪問の映像を流すなどして両地区的交流を図った。



浜田委員



山谷委員

## 《終わりに》

最後に、3662地区尹成珉ガバナー/ミニー、当地区佐藤ガバナーエレクトからご挨拶を頂き、閉会となりました。約2時間のZoom交流会は大変有意義な時間であり、コロナ禍だからこそ行えたオンラインでの交流は新しい交流の方法の1つとして、これからも価値あるものと感じました。次回以降の開催が待ち望れます。

(編集 姉妹地区委員 大河原 幸夫)



## 相模原ニューシティRC戦略計画について

クラブ戦略計画事例紹介インタビュー  
「相模原ニューシティ  
ロータリークラブ」

左から、阿部副委員長 相澤委員長 大隈バスト会長

インタビュー実施日 2022年3月23日(水)16:00～@相澤ビル8階

インタビュー 相模原ニューシティロータリークラブ 大隈 秀仁様

インタビュアー 地区戦略計画委員会 委員長 相澤 光春  
地区戦略計画委員会 副委員長 阿部 剣朗

**阿部副委員長)** 本日は、今年創立5周年を迎えた相模原ニューシティロータリークラブの初代会長である大隈秀仁バスト会長にお話を聞かせて頂きます。

**大隈PP)** 2017年1月にチャーターメンバー38名で新クラブを設立しました。当クラブの特徴としましては、2016年規定審議会でクラブの柔軟性に関して大きく規定が改正されたことを受けて、早速その改正を取り入れたクラブ運営にしましたので、クラブ自体に柔軟性があると思っています。また、会員の平均年齢が53歳と比較的若く、新会員のみのクラブですので、上下の隔たりなく自由な発想で楽しく仲良く活動できていると感じています。

**阿部副委員長)** クラブ設立前から、大きな規定の改正についてなどしっかりと勉強されて準備をされたことは素晴らしいと思います。さて、この数年はコロナの影響で、思うような活動が出来ていないクラブが多くありますが、いかがですか？

**大隈PP)** 2020年3月の緊急事態宣言発出後は1ヶ月程休会にしましたが、その間、例会をZoomで開催できるように研究し、ハイブリッド例会に切り替えました。その後は、緊急事態宣言中は完全Zoom、まん延防止期間中はハイブリッドで例会を開催しています。奉仕活動については地域の子供達を対象とした事業を行っているため、コロナの感染が始まって以来2年間中止しています。親睦活動は、ハイブリッド例会の時は会場に集まった会員で懇親会を行っていますし、Zoom飲み会を数回行ったこともあります。昨年12月のクリスマス例会を川崎競馬場で開催して盛り上りました。会員増強維持は、コロナ禍で勧誘しづらいということもあって増強は停滞しています。維持については2年間退会者が出ていない状況です。

**相澤委員長)** 2年間退会者が出ていないのも素晴らしいですね。さて、創立5周年という大変フレッシュなクラブで、設立後すぐに長期(10年)計画をクラブで策定されているとのことですが、策定に至る背景と、クラブにとって長期計画を持っているというのはどのような意味があると思うかお聞かせ頂けますか？

**大隈PP)** 当クラブのクラブ名称(相模原ニューシティ)の意味は創立の趣意にもなっています。これは、2016

## 相模原ニューシティRC戦略計画について

年に新クラブ設立準備を進めていた当時の相模原市の政策は、当市を広域交流拠点都市として首都圏南西部の「新都心」に位置づけようとしておりましたので、将来、相模原市の新都心構想が実現すれば、相模原市は大きく発展することになります。しかし、街の発展とともに様々な問題が発生する可能性もあると考えました。そこで、当クラブは相模原市の発展とともに発生する問題を洗い出し、多くの市民の方々が活き活きと生活できる環境を創造できるような奉仕活動を模索し、実行するための行動指針として長期10年計画を策定しました。長期計画策定のメリットは全会員のベクトルを合わせて同じ方向に向かって行動できることだと思います。クラブ会員全員がベクトルを合わせて行動しなければ、クラブで描く夢や希望の実現は成し得ないのでしょうか。

**相澤委員長)** 長期計画として「10年後のイメージ」そして「10年間の行動指針」を定められていますが、どのようなものかご紹介いただけますか？

**大隈PP)** 長期計画の柱は、当クラブの活動を地域へ発信し、認知度を高め、共に活動する会員を増強しつつ、会員の維持に努め、魅力溢れる活力あるクラブの基礎を築いていくところにあります。10年後の相模原の姿、留意すべき課題、10年後のクラブの姿を描き、そこから導き出す「10年間の行動指針」が長期計画の柱です。この行動計画の中には、①会員増強、②会員の維持、③奉仕活動、④親睦活動の四項目について、具体的な計画とシンプルな目標を掲げています

**相澤委員長)** 策定後、現在までにすでに2回ほど改訂もされているということで、しっかりと見直し検証されているのが素晴らしいと思います。この検証や改訂はどのように行っていますか？また、課題はありますか？

**大隈PP)** 改訂の手続きは、「改訂に着手する前に例会で会員の意見を徵取」→「担当委員会で現況に沿った検証」→「改訂案を作成した時点で、再度、例会で会員の意見を徵取」→「最終改訂版を策定して次年度へ申し送り」。課題としては、クラブ会員全員の意見を聞いて策定した、改訂したと言っても、長期計画を実行する旗振り役は会長であり、実際に実行するのは委員長が主体となります。従って、委員長に温度差があれば長期計画の浸透度もそうですが、実行力にも差が出ます。この点については否めませんね。

**相澤委員長)** では最後に、今後の抱負を。

**大隈PP)** 創立5周年を迎えたので、色々と考える時期だと思っています。最近、あるロータリアンの方とお話をしていて戴いた言葉があります。「誰しも生まれた時は自分の考え方など持っていないが、5歳にもなれば自分の思いや考え方を主張し始める年頃でもあるからね」というお言葉は印象的でした。今後は、これまで以上に会員の意見を聞く機会を設け、個々の会員の満足度を高めていけるクラブになればいいなと思っています。





## ロータリー奉仕デー

## 第3グループロータリー奉仕デー 「カンボジアまごころ お届けプログラム」報告

2021~22年度  
第3グループ・ガバナー補佐  
**椋梨 兼彰**  
(藤沢RC)



第2780地区第3グループ「ロータリー奉仕デー」の活動が、3月10日(木)藤沢市秩父宮体育館で行われました。約1年前、田島透ガバナーから2021-22年度は従来行われていた「IM」を行わず、地区内の10グループそれぞれが一丸となり人道的奉仕(戦争防止と平和、疾病予防、水と衛生、母子の健康、基礎的教育の充実、地域経済の発展、環境保護)に関連した奉仕を実施するよう提唱され、「ロータリー奉仕デー」として活動することを伝えられました。

今年度担当クラブの藤沢南ロータリークラブ(新井智代会長)に実行委員会を設置し、阿部剣朗実行委員長を中心とした議論が始まりました。そこで藤沢南ロータリークラブが従来行っていた中高校生が学校で使って不要になった上履き(体育館履き)をクリーニングして必要とする地域へ送る活動を、バルセロナ・アトランタオリンピックでのメダリスト有森裕子氏が代表を務めるNPO法人ハートオブゴールド(以下HG)を通じてカンボジアに送る奉仕事業にしてはどうかという案が出て、会長幹事会により「カンボジアまごころお届けプログラム」と正式に決定して始まりました。初めは上履きということで考えていた所、実際のカンボジアのニーズに合うのか改めてHGに確認してサッカーシューズと運動靴、最近のコロナウイルス感染拡大において固体石けん、タオル(新品)の不足を聞き今回このラインナップで集める事を決定し、第3グループ各クラブ会長幹事による藤沢各中学校への担当を決め趣旨説明を行い理解を得て進めら

れました。2月12日(土)にはHG代表の有森裕子氏の講演会「スポーツと教育を通じてカンボジアの人々の自立を寄与する」と親睦会も予定されておりましたが、この時期に新型コロナウイルスオミクロン株の急速な感染拡大が起こり、各都道府県に蔓延防止等重点措置が発令され残念ながら中止が決定されました。実行委員会でこの様な状況で何かできないかと考え、蔓延防止等重点措置中ですが感染対策を考慮して集めた物を集計して梱包して送り出すことを3月10日(木)に行うことになりました。人数はあまり集められないで各クラブの会長幹事を中心に関係者を含めて行いました。靴の状態も非常によくクリーニングされており驚きました。送ることがわかっているので子供たちも踵を潰して履くこともせざりに使うと聞いたときは教育に役立つこともあると思いました。当日は田島透ガバナーにも参加して頂きこのような写真を撮ることができたのをうれしく思います。

この活動で集まった物の総数はサッカーシューズ・運動靴622足、タオル1548枚、固体石けん1542個、ジャージ5枚。合計段ボール(200サイズ)39箱も集まりました。

この場をお借りしまして今回の活動への後援をいただいた藤沢市、藤沢市教育委員会、藤沢商工会議所、藤沢商工会議所女性会、一般社団法人藤沢青年会議所の皆様、その他各団体、藤沢市民の皆様のご協力に深く感謝しお礼申し上げましてご報告させて頂きます。





# コーディネーター NEWS

2022年5月号

発行: Region 1 &amp; 2 &amp; 3

ロータリーコーディネーター

ロータリー公共イメージコーディネーター

## 会員増強からモチベーションアップへつなげる

長い時間をかけてようやく新しい会員の入会にこぎつけて安堵したのも束の間、親しかったクラブの仲間が退会するという情報が耳に入つてやりきれない思いに…。こうした事態は達成感のカウンターのように、高まっていたテンションを打ち砕いてしまいます。会員数だけでなく、会員の高齢化もクラブのポテンシャルをダウントさせてしまうでしょう。今では、新型コロナウイルスの連波にあわせてクラブ例会がストップしてしまい、ロータリーに対するモチベーションが損なわれて、いつの間にか寒風が吹くようになってしまったというクラブも増えているかもしれません。新型コロナウイルスと共に過ごさざるを得ない昨今、モチベーションの維持こそが緊急課題のように思えてなりません。

会員増強というテーマを数量達成のテクニックとして受け止めるだけではなく、ロータリーに対するモチベーションアップというところにつなげて考えていくということに強い関心をもってきました。ロータリーに入会しても、ロータリーの魅力や醍醐味を体感しないまま漫然とロータリーを続けている人（恥ずかしながら、かつての自分の姿です）や、ロータリーを理解するに至らないまま入会して間もなく退会してしまう人がたくさんいるということを聞くと、胸を締め付けられるような気持ちになります。会員増強から在籍の定着、つまり会員維持につなげなければ何の意味もない。さらに言えば、在籍期間だけでなく、ロータリアンとしてロータリーに対する熱い思いを増幅させていかなければ、アクティブなパワーは生まれてこないし、持続可能なロータリーにはならないとも思ってしまいます。

ロータリーへのモチベーションや高い目的意識を保ち続けていくには、研修セミナーやミーティングを通して、向上へのスイッチを入れたり学びや情報入手を習慣化するといった一連性も必要だと思います。掲げた目標に対して経過や結果を放置せず、きちんと確認して次の段階に活かしていくというスタイルも強く意識しなければならないと思います。

戦略計画には、会員増強と会員維持と会員資質向上をリンクさせた総合性のあるコンテンツが必須だと思いますし、行動計画として具体的に実行していくことが次の会員増強に弾みをつけることになると確信しています。

## ●MISSION:POSSIBLE～私たちにできること～

会員増強にしても奉仕活動にても、最初から否定的に考えてしまうことがあると思います。見かけ上は謙遜や謙譲といった美德のよう受け止められるかもしれません、ロータリーにおいてはモチベーションアップになりません。プラス志向による立場や行動こそが、ロータリアンとしてのステップアップになると言いたいと思います。

上記の目線で作成したテキストを添付しますので、ご活用いただきたいと思います。

第二地域 ロータリーコーディネーター補佐 関 邦則（長野 RC）

## 世界ポリオデー 2022 in Japan

2年余に及ぶ新型コロナウイルスの影響で、ロータリー活動にも大きな変化が生じました。ソーシャルディスタンスを保ちながら、例会、そして人道奉仕活動を継続していただきありがとうございました。

多くの皆様は、コロナワクチンの3回目のブースター接種を済ませたことだと思います。政府は第4回目のワクチン接種も計画していると報じられています。改めて、ウィルスの感染防止に対して、ワクチンの重要性を再認識することになりました。

ロータリーは30数年も「ポリオ根絶」に取り組んできました。

日本国内においてポリオはすでに忘却された存在になっており、ポリオの意識は低いです。日本国内では、2012年9月から不活化ワクチン注射接種が始まりました。現在は、生後3か月から12か月の間に3回、その後追加接種で1回、合計4回の接種が行われています。日本でも毎年ワクチンを接種し続けないと海外からポリオウイルスが入ってくることによる感染リスクも考えられます。

「ポリオ根絶」はロータリーの最優先事項、ワクチン接種の継続こそが根絶への鍵であります。達成まであと少しです。

コロナを経験して、日本でも再度「ポリオ根絶」に力をいれていきたいと願っています。残り後2か国ですが、生ワクチンや不活化ワクチンの接種を継続していかなければなりません。ワクチンの代金、それを保存、運搬するクーラーなどに、まだまだ多くの費用が掛かります。皆様ご存知のように、ビル＆メリンド・ゲツ財団がロータリーの資金に対し、2倍のマッチングを行っているので、皆様のポリオプラスのご寄付が3倍になるわけです。その支援がある間にぜひ、根絶したいと思います。

国際ロータリーでも、10月24日の「世界ポリオデー」には全世界で認知度を高め、寄付を募るイベントをしています。

今年は、日本各地で、地区単位、クラブ単位での世界ポリオデーイベントを企画、実施してポリオ根絶に挑戦したいと思います。今年は、ポリオ根絶コーディネーター(EPNC)はもとより、ロータリー公共イメージコーディネーター(RPIC)の皆さんのがこの世界ポリオデーのイベントを地域や日本全国にメディアを使って発信し、ロータリーの認知度やイメージの向上につなげ、そして、会員増強までつなげたいということで、ロータリーコーディネーター(RC)の皆様、さらに、恒久基金/大口寄付アドバイザー(E/MGA)、と協働して、地域リーダー全員で「世界ポリオデー」を盛り上げて行くことができたらいいなと思っています。

第二地域 RRFC 服部 良男（愛知 RC）



## Dawn of Nobility — How was Rotary established? —

### ロータリーの創生

Vol.10

文・絵 寺田 圭次 (ふじさわ湘南 RC)  
監修 田島 透 (ふじさわ湘南 RC)

#### セントルイス宣言 決議23-34

##### <エドガー・アレン>

1918年オハイオ州エリリアにロータリークラブが設立された。身体障害児救済活動を行い、後に国際身体障害児協会を設立するエドガー・アレン (Edgar Allen) は、エリリアクラブ設立を知り、ロータリーの力を借りて自らが取り組んできた慈善事業を発展させる目的で入会を申し入れた。彼の入会の趣旨を聞いたポール・ハリスは大いに支持し歓迎したという。

1922年ロサンゼルス大会において、アレンはエリリア、トレド、クリーブランドの3クラブ共同提案として決議22-17号の採択を取り付けるに至った。



Edgar Allen

決議22-17号とは、「RI第13回大会はクラブが行なっている人道活動を掌握し、本大会に出席している各代表に対し、身体障害者支援の問題に対して注意を喚起し、この活動が各クラブの地域社会に於ける奉仕の機会を提供するものであること、それぞれのクラブに認識させるように決議する」というもの。



Will Manier

これに対し「理論派」の反発は強く、奉仕の心を育成するのがロータリー運動の本質であり、奉仕の社会的ニーズがあれば、個人的または自らの地域社会の団体活動として行えば良いと主張した。方や「実践派」は実践することこそロータリーの真髄であり、奉仕の心の育成や奉仕の提唱に止まるのは責任回避だとして譲らなかった。

理事会の決議は二転三転し、1923年のセントルイス大会では国際身体障害児協会の仕事をロータリーが代行し費用負担として人頭分担金年間1ドルを徴収するという、決議23-8が提案された。この決議は、理論派の主張に反する上にクラブの自治権を侵すもので、大反対キャンペーンが起こり、反対派による大会役員への説得が行われた。その結果、ナッシュビルロータリークラブのウィル・メニア (Will Manier) 等により提案された決議23-34(セントルイス宣言)の成立と引き換えに8号議案は撤回され、遂に理論対実戦の論争に終止符が打たれた。34号決議の論旨の要約は以下の通りである。

##### <決議23-34>

- (1) ロータリーとは利己心、利他心、その間に常に起こる諍いを和解させる哲学である。それは「最もよく奉仕するものが最も多く報いられる」という実践理論に基いている。
- (2) クラブの役割は、職業人としての成功と幸福の基礎である奉仕理論で、それをロータリアン及び社会に実証するための鼓舞育成啓発するためにある。
- (3) 国際ロータリーは定款から逸脱したり不適切な奉仕活動を回避するため、その在り方を標準化するための情報交換をする場である。
- (4) 奉仕は活動するべきである。ロータリーは心構えだけでなく、ロータリーの哲学も主観的ではなく、行動しなければならない。ロータリアンもクラブも奉仕の実践をするべきである。
- (5) 全てのロータリアンの個々の努力が求められる活動は、クラブの集団的行動だけを求められる活動よりロータリー精神に相応しいものだ。ロータリークラブの社会奉仕活動は、ロータリアンが奉仕の訓練をする実験の場と考えるべきである。
- (6) 奉仕活動の選択権は、個々のクラブが絶対的自主権を持っている。ただロータリーの目的を逸脱する社会奉仕はしてはならない。国際ロータリーは示唆は出来るが、クラブに特定の奉仕活動を強いたり、禁止したりしては決してならない。

ロータリーの分裂の危機を回避させた同決議は、理論派と実戦派双方の主張を巧みに調和させたものであった。この「セントルイス宣言 決議23-34」はロータリーの基本理念となり、ロータリーという大組織内で“紛争”が起きた時、今尚その解決の拠り所となっている。

# GROW MORE MEMBERSHIP!

## ～新会員's VOICE vol. 9～

地区会員増強維持拡大委員会 委員 井上 晋一 (寒川RC)

新会員'sVOICE 9回目は第1グループの新会員をご紹介します。横須賀RC2名、三浦RC1名の新会員の方々にインタビューさせて頂きました。元実業団の卓球選手で、現在は都内、神奈川県内、大阪府内で卓球教室を経営されていらっしゃる田中由紀子さん(横須賀RC)。会社は都内でビルメンテナンス会社を経営されていらっしゃる岡田圭太さん(横須賀RC)。地元三浦でリサイクル業、静岡でマグロ荷役業を経営されている二塚雅則さん(三浦RC)。皆さん若い新会員で、職業は職業分類で目にしてはいましたが、初めて実際にそのお仕事をする方であったり、大変興味を持ってお話を聞けました。また、皆さんは地元への奉仕、国際奉仕に対して意欲的な方々です。入会の決め手となったことはどのようなことなのか、これからどのような活動をロータリーで取り組んでいきたいか、フレッシュな目線でお声を聞かせていただきました。新会員の皆様が何を感じ、これからをどう考えているかの声の中に、クラブにとっての増強維持のヒントが隠されているかもしれません。

(動画は約29分ほどです)



<https://youtu.be/tbZF5y8kNNQ>

### 新会員

田中由紀子 (横須賀RC)

岡田 圭太 (横須賀RC)

二塚 雅則 (三浦RC)

### インタビュアー

岩澤あゆみ (地区会員増強維持拡大委員長・茅ヶ崎RC)

関根 貢 (地区会員増強維持拡大副委員長・葉山RC)

井上 晋一 (地区会員増強維持拡大委員・寒川RC)

### 新会員紹介 ①所属 ②入会日 ③職業分類 ④スポンサー



いのうえ ゆう き  
**井上 祐城**

- ①座間
- ②2021.12.1
- ③不動産全般
- ④美濃口集



つかはら よしたか  
**塚原 吉隆**

- ①綾瀬春日
- ②2022.1.19
- ③建設業
- ④笠間博幸



ふじ き しょうへい  
**藤木 翔平**

- ①ふじさわ湘南
- ②2022.2.7
- ③建設業
- ④田島透  
相澤光春  
黒川真



たに だ たけ お  
**谷田 健雄**

- ①大和
- ②2022.2.15
- ③不動産販売
- ④桑原治夫



おおたに しゅんすけ  
**大谷 俊祐**

- ①相模原
- ②2022.4.1
- ③総合建設業
- ④西澤健太郎



おがわ あやな  
**小川 彩奈**

- ①相模原
- ②2022.4.1
- ③倉庫業
- ④杉岡芳樹

### 訃報 ご冥福をお祈り致します



ふる き ます ひ さ  
**古木 益美左** (相模原南RC)  
2022年3月22日逝去(享年89歳)  
ロータリー歴48年  
1993~94年度 クラブ会長  
PHF+2  
米山功労者3回



みや ざわ やす お  
**宮澤 保夫** (大磯RC)  
2022年3月23日逝去(享年72歳)  
2009年9月6日入会  
PHF+2  
米山功労者2回



## 第2780地区 2022年3月末 会員数

グル ープ	ク ラ ブ 名	例 会 数	出席 率 (%)	会員数									
				3月末		年 初 7月1日		本年度 入会者		本年度 退会者		本年度 増減	
				男女	女性	男女	女性	男女	女性	男女	女性	男女	女性
				合計	会員	合計	会員	合計	会員	合計	会員	合計	会員
1	横須賀	2	88.68	114	14	121	14	2	1	9	1	-7	0
	横須賀北	1	100.00	19	4	20	4	0	0	1	0	-1	0
	三浦	5	52.00	30	1	29	1	3	0	2	0	1	0
	横須賀西	3	97.44	14	0	14	0	0	0	0	0	0	0
	横須賀南西	1	88.89	11	0	11	0	0	0	0	0	0	0
	計		85.40	188	19	195	19	5	1	12	1	-7	0
2	鎌倉	1	62.86	78	14	78	13	4	1	4	0	0	1
	逗子	5	54.55	41	4	45	4	1	0	5	0	-4	0
	鎌倉大船	2	66.21	15	0	16	0	1	0	2	0	-1	0
	葉山	4	70.24	21	4	22	4	2	1	3	1	-1	0
	鎌倉中央	0	0.00	19	4	22	4	0	0	3	0	-3	0
	計		50.77	174	26	183	25	8	2	17	1	-9	1
3	藤沢	1	44.19	41	13	42	13	1	1	2	1	-1	0
	藤沢西	3	67.81	20	1	20	1	0	0	0	0	0	0
	藤沢東	4	64.52	29	7	32	8	4	0	7	1	-3	-1
	藤沢北西	0	0.00	12	0	11	0	1	0	0	0	1	0
	藤沢南	3	48.12	38	7	38	7	1	0	1	0	0	0
	ふじさわ湘南	5	74.86	35	1	34	1	1	0	0	0	1	0
	かながわ湘南	3	50.00	20	12	21	13	0	0	1	1	-1	-1
	アーカス湘南	5	60.00	3	2	3	2	0	0	0	0	0	0
	イバーショングートウェル	1	53.33	29	1	27	1	2	0	0	0	2	0
	計		51.43	227	44	228	46	10	1	11	3	-1	-2
4	茅ヶ崎	3	87.74	38	5	39	5	1	0	2	0	-1	0
	寒川	2	91.44	31	1	30	1	2	0	1	0	1	0
	綾瀬	1	90.91	35	0	35	0	0	0	0	0	0	0
	茅ヶ崎湘南	1	69.44	43	1	41	1	5	0	3	0	2	0
	茅ヶ崎中央	4	71.65	49	3	49	2	3	1	3	0	0	1
	綾瀬春日	2	72.00	24	1	24	1	1	0	1	0	0	0
	計		80.53	220	11	218	10	12	1	10	0	2	1
5A	相模原	4	61.54	69	6	68	5	3	1	2	0	1	1
	相模原グリーン	3	67.32	51	5	52	5	0	0	1	0	-1	0
	津久井中央	2	97.92	25	4	20	4	5	0	0	0	5	0
	相模原橋本	1	46.77	63	8	59	9	6	0	2	1	4	-1
	相模原ニューシティ	1	61.90	42	5	42	5	0	0	0	0	0	0
	相模原南	2	91.73	51	9	51	7	3	2	3	0	0	2
	相模原中	4	87.90	26	3	27	3	0	0	1	0	-1	0
	相模原西	2	52.33	43	4	45	5	0	0	2	1	-2	-1
B	相模原グローブ	0	0.00	8	4	8	4	0	0	0	0	0	0
	相模原東	2	84.38	18	4	14	4	4	0	0	0	4	0
	相模原柴胡	3	61.73	27	2	26	2	1	0	0	0	1	0
	相模原かめりあ	0	0.00	30	30	23	23	7	7	0	0	7	7
	計		59.46	453	84	435	76	29	10	11	2	18	8

グル ープ	ク ラ ブ 名	例 会 数	出席 率 (%)	会員数									
				3月末		年 初 7月1日		本年度 入会者		本年度 退会者		本年度 増減	
				男女	女性	男女	女性	男女	女性	男女	女性	男女	女性
				合計	会員	合計	会員	合計	会員	合計	会員	合計	会員
6	厚木	5	85.63	39	2	42	2	0	0	3	0	-3	0
	大和	5	90.10	35	5	33	5	3	0	1	0	2	0
	座間	4	56.28	30	1	30	1	1	0	1	0	0	0
	大和中	4	71.88	25	1	25	1	1	0	1	0	0	0
	厚木中	5	95.89	23	1	24	1	3	0	4	0	-1	0
	大和田園	3	73.99	30	2	31	2	0	0	1	0	-1	0
	海老名	3	69.28	50	5	51	4	2	1	3	0	-1	1
	海老名櫻	4	71.42	37	5	35	4	2	1	0	0	2	1
	厚木県央	3	89.47	39	3	38	4	2	0	1	1	1	-1
	本厚木	1	100.00	36	3	35	4	2	0	1	1	1	-1
	計		80.39	344	28	344	28	16	2	16	2	0	0
7	秦野	4	77.92	50	7	49	7	1	0	0	0	1	0
	伊勢原	5	68.87	50	3	51	3	2	0	3	0	-1	0
	秦野中	4	85.81	38	2	39	2	1	0	2	0	-1	0
	伊勢原中央	3	97.22	12	0	12	0	0	0	0	0	0	0
	秦野名水	5	85.00	15	7	16	7	0	0	1	0	-1	0
	伊勢原平成	3	73.33	20	1	19	0	1	1	0	0	1	1
	計		81.36	185	20	186	19	5	1	6	0	-1	1
8	平塚	4	80.24	61	5	59	4	3	1	1	0	2	1
	大磯	3	75.46	15	2	16	2	0	0	1	0	-1	0
	平塚北	2	73.53	37	6	37	6	1	0	1	0	0	0
	二宮	0	0.00	8	2	8	2	0	0	0	0	0	0
	平塚西	3	75.70	29	1	30	1	0	0	1	0	-1	0
	平塚湘南	2	85.72	46	7	46	8	1	0	1	1	0	-1
	計		65.11	196	23	196	23	5	1	5	1	0	0
9	小田原	2	87.63	64	5	58	2	7	3	1	0	6	3
	湯河原	3	85.33	26	4	24	3	2	1	0	0	2	1
	箱根	3	63.87	36	2	36	2	1	0	1	0	0	0
	小田原北	4	72.73	30	4	30	4	2	0	2	0	0	0
	小田原城北	0	0.00	45	3	45	3	1	0	1	0	0	0
	小田原中	1	84.44	49	5	49	5	0	0	0	0	0	0
	足柄	1	72.22	18	1	17	1	2	0	1	0	1	0
	計		66.60	268	24	259	20	15	4	6	0	9	4
	総計		69.01	2255	279	2244	266	105	23	94	10	11	13

地区内クラブ	地区内会員総数(人)
65	2,255 (279)

( )内は女性会員

本年度入会者数(人)	本年度退会者数(人)	本年度会員増減数(人)
105 (23)	94 (10)	11 (13)



**ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2780**  
2021~2022 Governor  
**Toru Tajima**

■OFFICE  
Aizawa Bldg.#1,5F,22-7-501  
Minami-Fujisawa,Fujisawa-city,  
Kanagawa 251-0055 JAPAN  
Tel:+81-466-25-8855 Fax:+81-466-25-8866  
E-mail:g-office@rid2780.gr.jp  
URL :https://rid2780.gr.jp

2021~2022年度ガバナー  
**田島 透**

■事務所  
〒251-0055  
藤沢市南藤沢 22-7-501 第一相澤ビル 5階  
Tel:0466-25-8855 Fax:0466-25-8866  
E-mail:g-office@rid2780.gr.jp  
URL :https://rid2780.gr.jp

ガバナー月信 2022年5月1日 第11号